

2018年11月度(11/2(金))ハイキング報告

紅葉を見に行く絶好の、雲一つない秋晴れの日ですが、今回は造幣局さいたま支局と鉄道博物館の見学の街ハイキングです。今回の参加者はハイキング同好会の会員17名とS氏とK氏の友達の特別参加5名(内1名は造幣局見学のみ)の参加があり計22名となりました。さいたま新都心駅集合で、9:20 全員集まったところで今回の幹事さんS氏より挨拶とスケジュール説明。又、鉄道博物館は21名となり、団体割引で入ることができるので、¥1,040/人となる。このため¥1,000/人を集金し、¥40はハイキング同好会の会費から充当する旨の提案が幹事よりされ、了承された(40×21=¥840 充当)。9:25 頃造幣局さいたま支局に向けて出発しました。



9:20 全員集まりスケジュール説明/鉄道博物館の入場料の端数¥40をハイキング同好会会費からの充当提案



9:30 頃さいたま新都心から造幣局へ向けて歩き始めました。途中道路に向けて観覧席が…。「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」(自転車競技ロードレース)に使用されるようで、今年は11/4(日)に開催と後で知りました。



造幣局さいたま支局で集合写真



9:40 過ぎに造幣局に到着。



造幣局に予定より少し早く着いたので、見学は予定より約10分早くスタートとなった。まずはビデオルームでビデオを見た後、工場見学、博物館見学となりました。

10:10頃 工場見学入口へ。ここからの工場内は写真撮影禁止でした。 →



ここの造幣局さいたま支局は、紙幣は扱っておらず、硬貨、プルーフ貨幣、メダル、勲章を主体に作られているとの説明があり、プルーフ貨幣という言葉は初めて耳にしました。プルーフ貨幣とは、収集家の方々のリクエストに応えた貨幣で、一般の貨幣より、鏡のような光沢をもたせ、模様のある面をつや消しで浮き出させているとのこと。圧印機で貨幣の模様を2回連続圧印しているそうです(通常貨幣は圧印1回)。長く記念品として保有するのに適した貨幣という事で高い人気を集めているとのことでした(知らなかったな～ 独り言)。又、国家、公共に対し功労のある方に授与される勲章を製造しているとのこと。

工場見学は、通常貨幣の製造工程、プルーフ貨幣の製造工程、そして勲章の製造工程を順番に案内して頂きました(掛かった時間約50分)。

その後、博物館の案内をして頂きました。

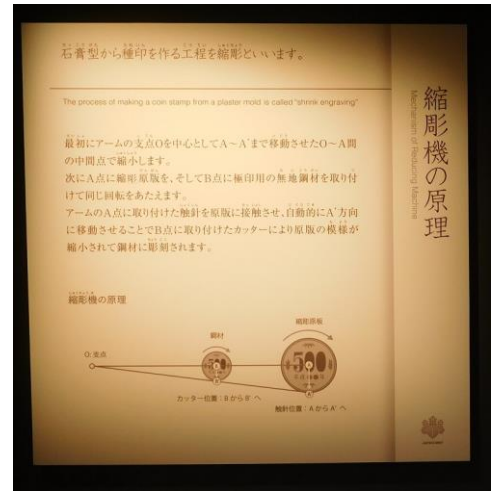
下記の写真は博物館の案内風景です。



博物館は通常貨幣の製造工程、日本の勲章コーナー(ここは写真撮影禁止)、オリンピックメダル、日本の記念貨幣、日本の貨幣の歴史などの各コーナーがあり、最後は体験コーナーという事で、貨幣の健康診断機で貨幣のチェック、貨幣袋・千両箱の重さ体験がありました。

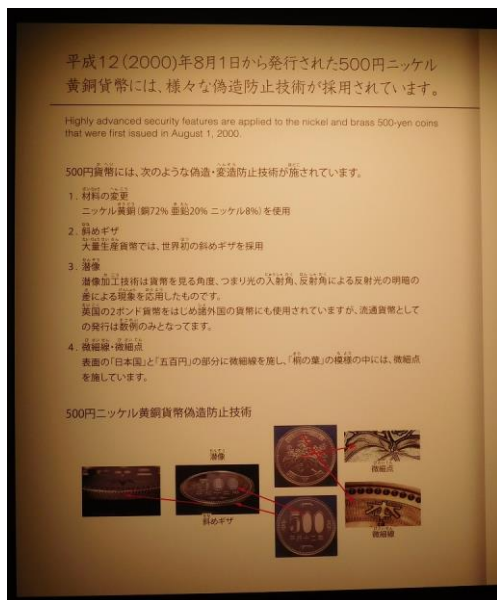


貨幣がどのように作られているかの説明



縮彫機の説明

貨幣の製造で大きな型を作り、それを縮彫機で通常使われている大きさにするので、初めて目にするものでした。偽造防止技術についての説明もありました。又、海外のコインも製造されたとの説明もありました。



偽造防止技術の説明



日本の貨幣の歴史コーナー

記念貨幣の展示





日本の記念貨幣コーナー
こんなにたくさんあるなんて知らなかった！！

左は地方自治法施行 60 周年で製作された各県の記念 500 円の貨幣。

え！こんなに発行されている？皆さん知っていました？



千両箱・貨幣袋の重さ体験コーナー

←顔は笑っていますが、この千両箱は約 20 kg です。



貨幣の健康診断機コーナーです。
機械に入れたコインの診断を行い、診断結果が出てきます。実際に診断されたコインはまだ問題なく使用できるとの結果でした。コイン提供者に渡されました。



見学後は、ミント(造幣局のこと)ショップでお買い物される方もおりました。

約 1 時間半の造幣局の見学も終わり、11:40 ごろ造幣局を後にしました。
当初の予定では、さいたま新都心の駅まで行って電車で大宮への移動でしたが、天気も最高に良かったため(ハイキング日和)、電車で行くか歩いていくか相談したところ全員が歩きを希望され、大宮駅まで歩くことになりました。



空は雲一つない良い天気
11:45頃 道路に面した観覧席を横に見ながらさいたま新都心駅方面に向かう



12:05頃 20分後まだ足取りも軽く…

大宮駅まで約40分かかりました。昼食は、かなり先を歩いていたK氏の5人グループと、大宮駅近くで別れたS氏の3人グループと、残り14名と3か所に分かれてしまいました。次の目的地の鉄道博物館に2:00集合なので、それに間に合うよう昼食をとりました。14名は、「そごう」9階の日本そばの「永坂更科」で昼食をとりました(席が取れたので、12:40頃入る)。

昼食後、鉄道博物館までシャトルで行くか歩いていくか? 14名の内「歩いていく」を選んだのは4名だけでした(昼食前に分かれた3人組、5人組は把握できず)。13:30頃「そごう」を出発。

大宮駅から鉄道博物館までの道路脇には、写真や蒸気機関車などが所々に展示されており、楽しみながら歩くことができました。



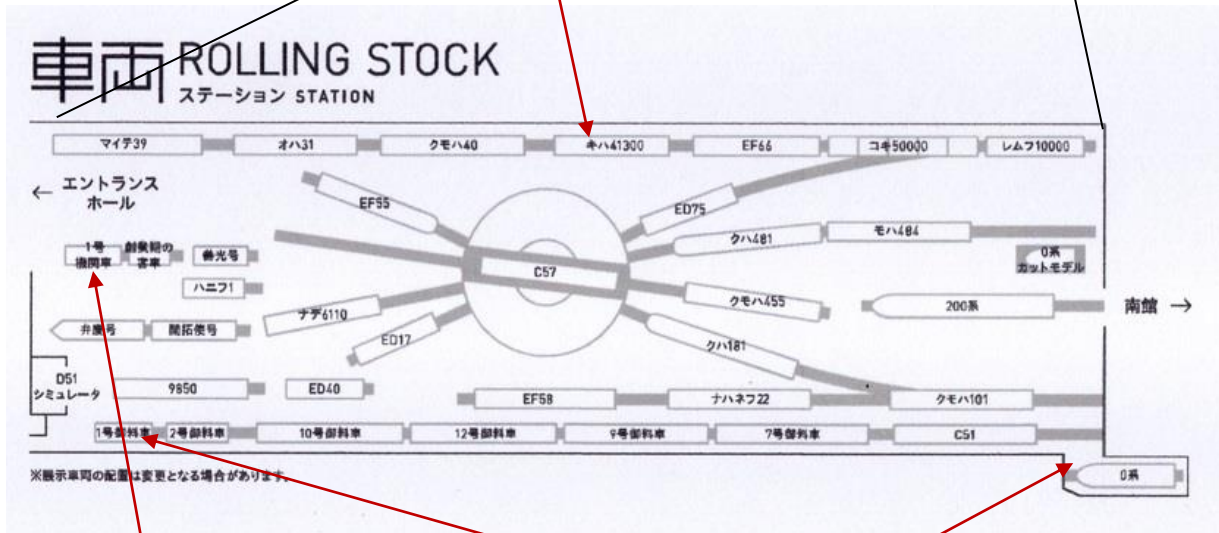
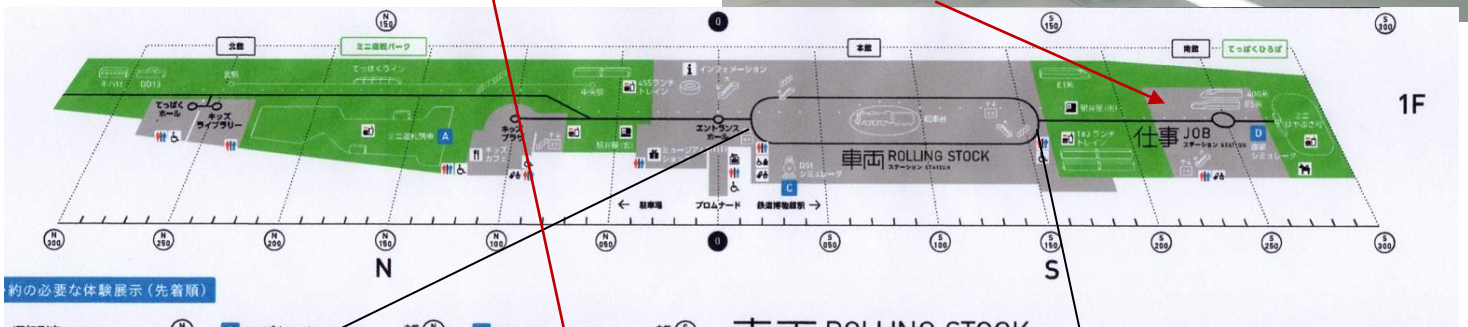
大宮駅から鉄道博物館まで歩くと上記のような鉄道に関するものが置かれており、楽しみながら歩くことができました。

歩きの4名は予定の14:00少し前に到着。他の方は全員すでに着いていました。21名なので団体割引で入場できました。

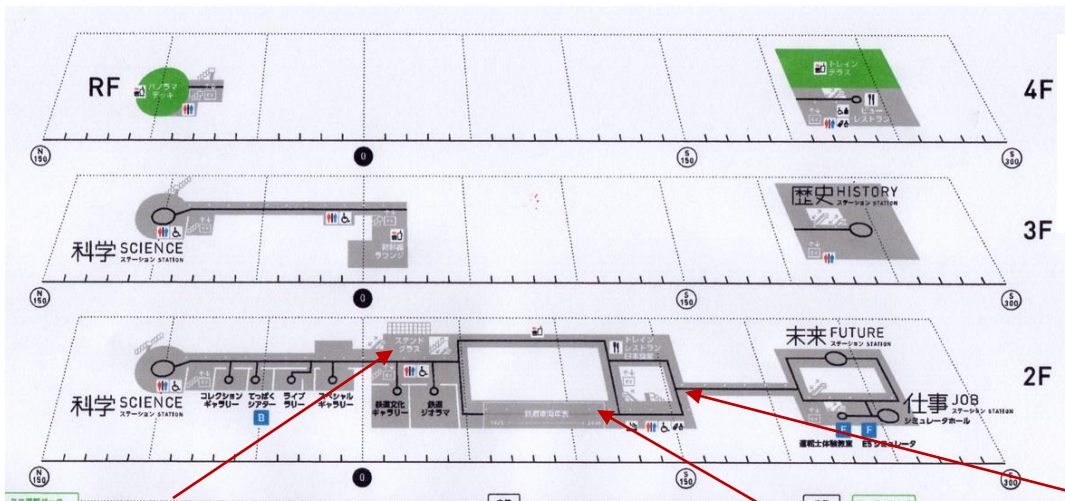
ほとんどの方が初めての入場で、約2時間自由に見学と言っても、ただ見て歩くだけではと戸惑いの声があがりました。近くにボランティアによるガイド案内があったので、急遽依頼してみることにになりました。2名がガイドできるとのことで、10名と11名に分かれて見学することになりました(ばたばたと2組に分かれ出発してしまったので、残念ながら集合写真を撮ることができませんでした)。

10名の方のグループは、車両ステーション(36両の実物車両の展示)を1時間強かけて見学し、次に2Fに上がり「スタンドグラス、鉄道車両年表」をみて、南館の「未来、仕事」ステーションへ。その後、南館の1Fに降り「新幹線E5系」で写真を撮り、又、2F

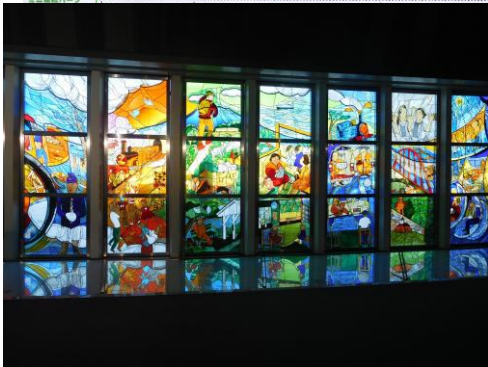
へ上がり、鉄道ジオラマと進みましたが集合の時間が迫り、時間切れ。鉄道ジオラマを見ずに1Fのエントランスに戻り帰りの集合となりました。



まずは1号機関車から案内されました。



3F/4F
今回は行けませんでした



ステンドグラス



鉄道車両年表に見入る



鉄道博物館内はとても広く、又、興味ある人にとっては時間がいくらあっても足りないくらいの展示物、体験できる場所があり、計画した 2 時間ではすべてを見るのは無理で、一部を見るだけになりました。ボランティアガイドに依頼しガイドして頂きましたが、2 時間では足早にと言う感じでした。展示車両の多さ、展示車両は入るだけでなく座席に座ることもできるので楽しめたかと思いますが、広すぎました。今回行ってきたので、興味ある方は時間を見つけて再度行ってみたいはいかがでしょうか？

今回は、予定外の大宮駅までの歩きもあったので結構歩きました。案内を受けながらなので、普通のサッサとしたテンポの良い歩き方ではなく、だらだらとした歩きが多く、又、立っている時間も長く、休みもなかったので疲れたのではないのでしょうか？

参加者の皆さんの協力により、予定通りの時間で行程を終えることができました。また、無事に帰路に着くことができましたこと、実施担当の一員としてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、次回 12 月は福祉環境担当の「太田金山ハイキング、忘年会」になります。皆さん、次回はまた晴れの天気になりますよう祈り、元気に歩き、その後の忘年会で来年の英気を養いましょう！！

2018/11/6
(記:佐々木 泰)